

まいづる
元気人

伝えたい想いをラジオに乗せて

FMまいづる パーソナリティ 永野 由佳さん

「ミニニティFM放送局『FMまいづる』のトーク番組『ななこちゃったラジオ』木・金曜日を担当している永野さん。木曜日は『こだわり』のコーナーを中心に、また、金曜日は主に市の職員をゲストに迎えて、多彩な話題を提供しています。今回は、スタジオでお話を伺いました。

出会うの流れに乗って

西市民プラザの2階にあるFMまいづるのスタジオ。ガラス張りのスタジオの中には、ふらりと立ち寄った人からも見ることができ、毎週木曜日と金曜日の15時には、永野さんがマイクを前に放送する姿がある。

同じ西市民プラザの1階にある「子育てひろばひまわり」のスタッフとして働いている永野さんは、昨年4月にFMまいづるが開局するにあたり募集していたパーソナリティの仕事、職場の上司から勧められ応募。オーディションを通過し研修を受けて現在に至る。番組は好評だ。

学生時代を含めて放送経験が無かった永野さんは、資格や肩書と関係ない「何者でもない私」が放送することに意味があると考えている。「楽しそうやってみたい！その気持ちに従えば人生はもつと豊かになるのでは」と話す。

1年余り放送を続けてきて、印象に残っているのは、舞鶴市内の出生情報をお届けする『タカラモノ』。こんには赤ちゃん』のコーナー。初めて赤ちゃんの名前を放送

したときには感動して涙ぐんでしまったとのこと。

子育てをしている「私こそ大切に

木曜日の放送に、「つながらる ikuji」というコーナーがある。「子育てを一人で抱え込まずに地域の人やサービスを頼ってつなかりを作ってほしい」という願いを込めて地域で子育てに関わるゲストと一緒に、居場所やサービスなどの情報や育児中のリスナーへのメッセージを発信している。

永野さんが働く子育てひろばは、妊婦さんや未就学児とその保護者が日常の居場所として心地よく過ごしたり、交流したり、相談したりできる所だ。「私たちは、ひろばに来てもらってはじめて支援ができるのですが、不安でなかなかひろばに入っていけなかったり、外出するのもしんどかったり、引越してきたばかりでどこに遊びに行けばいいのかわからなかったりと、いろいろな状況で子育てされているお母さんもおられると思います。けれど、そんなお母さんこそサポートが必要。どうしたら手を差し伸べることが出来るだろうかと考えていたところ、ラ

ジオなら届くかもしれないと思いつき、このコーナーを設けました」と明かす。

しんどのいのは自分だけじゃないと分かったり、こういう人がいるなら行ってみようかなと思えたり、子育てに前向きになれるきっかけ作りを目指しているそう。

常識を疑う

他にも木曜日の放送にはリスナーの価値観に問いかける「脱・ベッキーの呪縛」コーナーがあり反響を呼んでいる。毎日の生活のなかで「こうあるべき」と無意識に思い込んでいることが、実は自分を縛りつけているのではないかと、人によっては心がザワザワする内容だ。「いつも笑顔でいるべき」「人に迷惑をかけないよう気を使うべき」といった、思い込みや常識にとらわれ過ぎると、生きづらくなると永野さんは考えている。「解決方法はとつてもシンプル。自分にとって心地よい方を選ぶ。『できない自分』を許す。でもそれには勇気が必要。ゲストと一緒に、リスナーの背中をそつと押せるような番組になれば」とチャームिंगな笑顔の中に強い思いを乗せて、今週もマイクに向かう。



まいづる

花図鑑



各地の海岸の砂地に生える多年草。長い地下茎を伸ばし繁殖する。茎は高さ30センチくらいで枝分かれし、葉とともに細かい毛が密生する。葉は互生し柄は無く、長楕円形で厚い。春から夏にかけて茎の先に、筒状で先が5裂し、中心が黄色の白色の花をたくさんつける。種はコルク質で水に浮き海流で運ばれて繁殖する。

名前の由来は、地下茎が砂の中を長く伸びることから。春先には、海を渡り旅をする蝶アサギマダラの雄が蜜を吸いに訪れる。

【協力】瓜生勝朗

市文化財保護委員(植物分野)

スナビキソウ
(ムラサキ科)

見ごろ 5～6月頃

